※令和４年度以降入学生用

学校番号	1016

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	歴史総合　（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史総合は、歴史的なまなざし（歴史的事象に対して「なぜ」の視点をもち、考えようとすること）を養うために、とくに世界の近現代のできごとを中心に学習します。
・われわれの生きる現代社会が、過去のいかなる政治・経済・文化・思想などの積み重ねのうえに成り立っているかを考えようとすることも、歴史総合の学習にとっては必要不可欠です。知識の正確な理解は大前提ですが、国際社会に生きるわれわれのくらしとのつながりを意識することも重要です。

２　学習の到達目標

・諸資史料に親しみ、歴史的考察力を培う。
・現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史と日本の歴史を地理的条件などと関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1編　近代化と私たち	第１章　近代化への胎動 1　江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2　江戸時代の生産･流通と諸改革 3　幕政の改革と東アジア世界	a:江戸時代の日本にどのような身分があり、どのような問題があったかを理解している。また、史料や図から情報を集め、当時の日本についてまとめることができる。 b:資料を参考に、江戸時代に行われた改革について多面的に考察している。また、日本と東アジアの関係について、多面的・多角的に考察することができている。 ｃ:江戸時代の国際交流、琉球や蝦夷地の独自の歴史について主体的に追求して、現在において日本が単一民族で単一的な発展を遂げたという見解を打破しようとする学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート 発表
		第２章　欧米の市民革命と｢西洋の衝撃｣ 4　イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 5　フランス革命とウィーン体制 6　アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 7　オスマン帝国の衰退とロシア 8　アヘン戦争の衝撃と日本の開国 9　江戸幕府の滅亡	a:18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における政治、各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18 世紀とその前後の世界の経済と社会を理解している。 b:18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国でのできごとや影響などに着目して、主題を設定し、世界各地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、東アジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	確認テスト 定期考査 ワークシート	確認テスト 定期考査 ワークシート 資料読解	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		第 3 章　欧米諸国と日本の国民国家形成 10　イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 11　明治政府の諸改革 12　日本のアジア外交と国境問題 13　自由民権運動と大日本帝国憲法	a:19 世紀後半のヨーロッパや日本における政治、ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に、19 世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。 b:19 世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19 世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:19 世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	確認テスト 定期考査 ワークシート	確認テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート 発表
		第 4 章　帝国主義の時代 14　帝国主義の時代へ 15　朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 16　日清戦争後の東アジア 17　日露戦争と東アジアの変動 18　日本の産業革命	a:19 世紀から 20 世紀初頭にかけてのアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、19 世紀から 20 世紀初頭のアジアの経済と社会を理解している。 b:19 世紀から 20 世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19 世紀から 20 世紀初頭の日本における政治の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。	確認テスト 定期考査 ワークシート	読図・作図 確認テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート 発表

※令和４年度以降入学生用

2学期	2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち	第5章 第一次世界大戦と大衆社会 19 第一次世界大戦 20 ロシア革命とソ連の成立 21 米騒動とデモクラシー 22 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 23 アジアの民族運動 24 第一次世界大戦後の欧米諸国 25 ひろがる社会運動と普通選挙の実現	a:第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 b:第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察、表現している。 c:国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から、情報を読み取ったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりすることにより、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追求したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	確認テスト 定期考査 ワークシート	作図・読図 確認テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート 発表

※令和４年度以降入学生用

		第6章　経済危機と第二次世界大戦 26　世界恐慌と各国の対応 27　ファシズムの時代 28　満州事変と軍部の台頭 29　日中戦争と戦時体制 30　第二次世界大戦の勃発 31　第二次世界大戦の終結 32　国際連合の成立と冷戦 33　日本占領と日本国憲法 34　朝鮮戦争と日本	a:世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b:経済危機の影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求・解決しようとしている。	確認テスト 定期考査 ワークシート	読図 確認テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート 発表

※令和４年度以降入学生用

	3編 グローバル化と私たち	第7章 冷戦と脱植民地化 35 植民地の独立 36 米ソ両陣営の動揺 37 日本の国際社会復帰と高度経済成長	a:脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 b:地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から、情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりすることにより、興味・関心 をもったこと、疑問に思ったこと、追求したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	確認テスト 定期考査 ワークシート	作図 確認テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート 発表

※令和４年度以降入学生用

3 学 期		第８章　多極化する世界 38　石油危機と世界経済 39　緊張緩和から冷戦の終息へ 40　日本の経済大国化	a:石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の返納と課題を理解している。 b:アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:1970 年代に入り石油危機などが起きたころから 21 世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について追求し、課題を解決しようとしている。	確認テスト 定期考査 ワークシート	読図 確認テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート
		第９章　グローバル化と現代世界 41　地域紛争と対立 42　国際秩序の変容	a:歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。 b:事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c:21 世紀に入って日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようこれまでの学習内容を踏まえて課題を解決しようとしている。	確認テスト 定期考査 ワークシート	確認テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度